

# 平成28年度予算編成方針について

## 1 予算編成における基本方針について

急速な人口減少、超高齢化や生産年齢人口の減少といった社会構造の変化に起因する諸課題に対して、国や他自治体のモデルとなりうる効果的な施策に取り組むため、以下のとおり基本方針を定め、平成28年度の予算を編成していく。

### 【基本方針】

#### 1 「2025年問題」への対応

経済を活性化する「稼ぐ力」の展開、女性やシニアなどの「人財」開発、高齢者が社会を共に担う「シニア革命」に集中的に投資する。

#### 2 「安心・成長・自立自尊の埼玉」 5か年計画の総仕上げ

最終年度を迎える現行5か年計画の総仕上げに向け、12の戦略を具現化する事業に重点化する。

#### 3 財政規律の確保

持続可能な財政運営を行うため、県でコントロールできる県債残高の着実な減少と県債全体の残高の適切な管理を図る。

また、限られた財源を最も効果的に活用するため、解決しようとする課題の本質を見極め、施策・事業の手法が最適かどうかという観点からの見直しを徹底する。

## 2 平成28年度収支不足額（見込み） 1,053億円

（27年度予算編成方針策定時（同時点） 1,015億円）

- ◆ 歳入面では、緩やかな景気回復の影響などにより、県税収入等に一定の増加が見込まれる。しかしながら、政府の「経済・財政再生計画」において地方の一般財源の総額は27年度と実質的に同水準とされており、財源の確保は予断を許さない状況にある。
- ◆ 一方、歳出面では、高齢化等に伴う社会保障関連経費や県債の償還などの義務的経費の増加が避けられず、財政状況は依然として厳しい状況が続いている。
- ◆ 今回の収支試算は、歳入、歳出とも一定の前提に基づいて推計したものであり、最終的な予算の姿となるものではない。